

(第3種郵便物認可)

福崎高で来春統合の夢前高と

心一つに合同文化祭

2025年4月に開校する「播磨福崎高校」に統合される福崎高校(福崎町福田)と夢前高校(姫路市夢前町前之庄)の生徒が、初の合同文化祭を開いた。互いの校風を知る機会にしようと、統合後の校舎となる福崎高の文化祭に合わせて企画。ゲームや両校の吹奏楽部による演奏などで大いに盛り上がり、新たなスタートに向け気持ちを一つにした。

(喜田美咲)

両校の統合は県立高校再編計画の一環で、県教育委員会は昨年末、新校名のほか、「医療福祉や自然科学に軸を置く」という教育の特色を明らかにした。

合同文化祭は両校の生徒会が計画した。それぞれの役員が5月から放課後に集まり、みんなで楽しめるイベントを考えてきた。

14日に福崎高の体育館で行われた合同文化祭には、同高の全校生約470人と夢前高の同約180人が参加。両校の生徒会が司会進行を務め、ビンゴ大会や謎解きゲームに挑戦した。

その後、両校の吹奏楽部が合同で「ジャンボリズムキー」や「宇宙戦艦ヤマト」などをダンスも交えて演奏。多くの生徒が立ち上がって一緒に手拍子をし、会場は熱気に包まれた。

福崎高校と夢前高校の全校生徒が参加した合同文化祭。福崎高校

原みはる部長(18)は「人数が増え、音を合わせるのが難しかったけれど、声をかけ合って一つになった」と笑顔を見せた。

夢前高の在校生は卒業まで現在の校舎で過ごすため、統合校に通うことはない。同校の生徒会長で3年の釜谷璃久さん(17)は「夢前は先生も生徒も仲のいい雰囲気が自慢。(今回の交流で感じた)福崎の活気によさと合わさって、さらに魅力的な学校になってほしい」と期待を寄せた。



吹奏楽部演奏など
会場は熱気に包まれ